

はちのへ 市議会だより

平成17年6月定例会

No.49

編集と発行・八戸市議会

八戸市内丸1丁目1-1 ☎43-2111 内線407 2005年(平成17年)7月20日発行



青葉湖展望交流施設オープンセレモニー

平成十七年六月定例会は、六月七日から六月二十一日まで、十五日間の会期で開かれ、平成十七年度一般会計補正予算など市長提出議案六十七件、議員提出議案五件を可決して閉会しました。

今定例会では、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の委員および一部事務組合議会の議員の選任も行われました。

委員会一覧表 (平成17年6月7日選任)

(敬称略)

委員会名	委員長	副委員長	委員															
議会運営委員会	山口 広道	冷水 保	石石豊秋	橋屋田山	充俊美恭	志夫好寛	下八坂	田嶋本	保 眞	夫隆将	畠畑寺	山中地	敬 則	一 薫行	畑大角	中島金	哲一洋	雄男一
総務常任委員会	上条 幸哉	元沢 正治	石石菊	橋屋地	充俊敏	志夫明	畠伏山	山館口	敬博広	一史道	畑五小笠	中戸原	哲定要	雄博七	伏大	守島	弥千代	千男
経済常任委員会	田名部 和義	門前 廣美	三森谷	浦地	隆和先	宏芳郎	下坂坂	田本本	保眞美	夫将洋	森金西	谷野	光榮陽	男男一	荒吉	川田	重淳	雄一
民生常任委員会	寺地 則行	村上 仁	松豊吉	田田	美博	勝好司	八松壬	嶋橋生	金	隆知平	畑伊上	中藤田	圓善四郎	薫子郎	冷秋	水山	恭	保寛
建設常任委員会	工藤 雄剛	古館 傳之助	西前佐々	村澤木	吉時秀	晴廣男	壬越大	生後館	八賢恒	十博司夫	山角苺	名金田	文洋重	世一郎	藤東	井野	専礼	一郎二
環境先進都市推進特別委員会	菊地 敏明	森 和芳	西金壬	村谷生	吉榮金	晴男平	松元坂	田沢本	正美	勝治洋	八松上	嶋橋田	善四郎	隆知郎	豊伊	田藤	美圓	好子
観光開発特別委員会	坂本 眞将	石橋 充志	下伏工	田館藤	保博雄	夫史剛	畠冷秋	山水山	敬 恭	一保寛	伏上東	守奈野	弥千代	千哉二	門寺	前地	廣則	美行
港湾振興対策特別委員会	五戸 定博	壬生 八十博	三村谷	浦上地	隆 先	宏仁郎	森藤山	井口	光専広	男郎道	荒越西	川後野	重賢陽	雄司一	大吉	島田	一淳	男一
スポーツ・文化施設検討特別委員会	小笠原 要七	田名部 和義	畑山佐々	中名木	哲文秀	雄世男	石前大	屋澤館	俊時恒	夫廣夫	古角苺	館金田	傳之助	助一郎	畑吉	中田	博	薫司

市政に対する 一般質問

財政、観光行政、環境行政、教育行政など、123項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。

質問した議員(質問順)

五戸定博 上条幸哉 松田一男 大橋雄知 松中哲世 畑文雄 山名敏明 菊地眞一 冷水保将 坂本敬一 畠山将一 石橋充志 石地俊夫

三戸町の産業廃棄物最終処分場建設までのかかわりは

政風クラブ

【問い】 昨年度から営業を開始した三戸ウエイストパーク産業廃棄物最終処分場の建設までの、八戸圏域水道企業団とのかかわりは。

【答え】 この最終処分場については、河川管理者である国を中心とした馬淵川水系水質汚濁対策連絡協議会において、特に議題として取り上げられなかったが、水道企業団としては、馬淵川への影響に重大な関心を持ち、飲料水の安全を確保するため、水質自動監視装置の設置や定期的な水質調査を

施してその推移を見守ってきた。

現時点ではその影響は認められていないものの、水道企業団ではさらに精度の高い水質監視を目指すこととしている。

これらを踏まえ、市としても、県から情報収集をするなど、その監視を続けていく。

合併までの経緯を振り返り

市長の所感

市民政友会

【問い】 これまでの広域合併への取り組みや二市村での合併となつた経緯を振り返り、市長の所感は。

【答え】 合併協議の過程で、困難

な選択を迫られながら、最終的な決断をしなければならぬこと

あったが、議会の意向も確認しながら、それぞれの局面で最善の判断をしてきたつもりである。

しかし、住民の意向や議会の意見などに基つき出された各町村の方針は、当然尊重されるべきものであり、その結果、当初思い描いた広域合併には至らず、合併協議の難しさを実感している。

今回の合併は、新たな地域づくりの第一歩として、改めて身の引き締まる思いを感じている。

今後は、一日も早い新市の一体感の醸成に努め、合併して良かったと実感できるような、魅力あるまちづくりに取り組んでいきたい。

市発注工事の適正な施工を

日本共産党議員団

【問い】 市発注工事を適正に施工するため、下請契約の適正化にどのように取り組んでいるか。

【答え】 平成十三年四月施行の公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律では、公共工事の受注者に対し、その下請契約が建築一式工事で総額四千五百万円以上、またはその他の建設工事で

総額三千万円以上となる場合は、施工体制台帳の写しの提出を義務付けている。

本市の場合は、下請業者の状況把握のため、下請契約がおおむね百万円以上であれば、施工体制台帳の写しの提出を求めており、今後も、元請・下請業者を含めた全体の施工体制を把握するとともに、必要に応じて、適切な指導をしていく。

南部山健康運動公園の充実を

社民党・市民連合

【問い】 南部山健康運動公園に遊具を設置する考えは。

また、公園内での火気の使用禁止を一部解除する考えは。

【答え】 南部山健康運動公園は、温水プール、体育館、多目的広場、ジョギングコース、散策路などが整備され、市民の日常的な運動の

場および総合公園として利用されている。

最近では、家族での利用も増え、子どもが安心して遊べる施設の要望もあることから、今後は遊具の設置を検討していく。

火気の使用については、八戸市都市公園条例施行規則により、現在、指定された場所以外では使用できないこととなっているが、最近のアウトドアブームなどを考慮し、安全面や維持管理上の問題を整理し、検討していく。

新たな総合計画策定への 市長のビジョンは

社民党・市民連合

【問い】 新市としての新たな総合計画の策定にあたり、市長自らのビジョンは。

【答え】 今回の合併は、まちづくりの大きな転機であり、総合計画の策定にあたっては、合併効果を生かした新市の目指すべき方向を探っていく。

また、新市としての地域特性を生かしながら、引き続き、海洋・教育・環境立市を市政の柱に据え、あわせて、それを実現する実効的なプロジェクトと自立的な地域経



南部山健康運動公園

営の戦略を打ち立てていきたい。
今後、新市建設計画に将来都市像として掲げている、北の時代をリードする産業文化創造都市の理念を踏まえ、議員をはじめ、市民と議論しながら、新市の目指すべき方向性と経営指針をつくり上げていきたい。

消防団に防火衣などの確保を

日本共産党議員団

【問い】 八戸市消防団では、防火衣などが不足しているが、安全のため、十分な確保をする考えは。

【答え】 災害活動時に着装する防火衣などの装備品は、八戸市消防団員被服等貸与規程で、個人貸与ではなく、普通消防ポンプ車一台につき六セット、小型ポンプ積載車一台につき五セットを配備することとしており、そのサイズについては、おおむね身長一六〇～一七五センチメートルの団員を基準に、各分団の要望に基づき配備している。

【問い】 今後は、無着装での災害活動がないよう、早急に全分団に対し、装備品の配備要望調査を実施し、現貸与基準の見直しを含め、団員の安全確保に努めていく。

高齢者福祉サービスの充実を

社民党・市民連合

【問い】 新市建設計画にある高齢者福祉サービス充実のための取り組みは。

【答え】 市では、介護保険事業および高齢者保健福祉事業の円滑な推進を図るため、平成十二年三月に、八戸市高齢者保健福祉計画を策定し、在宅介護支援センター事業や軽度生活援助（ホームヘルパー）、生きがい活動支援通所（デイサービス）、食の自立支援（配食サービス）などの各事業に取り組んでいる。

【問い】 本年度は、現計画を見直し、平成十八年度から平成二十二年度までの計画を策定することとしており、その策定にあたっては、高齢者にアンケート調査を行い、高齢者のニーズに十分配慮した高齢者福祉サービスの充実に努めていく。

青森厚生年金休暇センターの

存続を

政風クラブ

【問い】 八戸ニュータウン内にある青森厚生年金休暇センターの存続を働きかける考えは。

【答え】 国は、今後五年以内に、

当施設を含む全国三百十八カ所の年金福祉施設などを譲渡または廃止する方針を打ち出している。

【問い】 しかし、当施設は、平成十年四月のオープン以来、毎年五十万人を超える集客を確保し、優良な経営のもとに黒字を続けている。

【答え】 また、住民の憩いの場として利用者の福祉増進に寄与するとともに、雇用面など市の経済への貢献も大きく、地域のイベント開催時には、施設の一部を開放するなど、地域住民の信頼も生んでいる。

【問い】 市としても、施設の存続を求め、国や関係機関へ働きかけていく。



青森厚生年金休暇センター

基本健康診査への受診状況は

政風クラブ

【問い】 基本健康診査の受診状況と今後の取り組みは。

【答え】 昨年度の基本健康診査の受診者数は、八戸市は二万六千八百八十八人で受診率三十七・二パーセント、南郷村は二千五百六十九人で受診率八十・〇パーセントとなっている。

【問い】 南郷区に対しては、本年六月から送迎バスを配車し、八戸市総合健康センターで集団健康診査を実施しており、さらに九月には各地区公民館でも実施する予定である。

【答え】 また、六十五歳以上の方は、集団健康診査のみであったが、合併に伴い、個別に市内の受託医療機関でも受診できることとなった。

【問い】 今後も、保健推進員による勧奨などを行い、さらに、健康教育などで健康意識の高揚を図り、地域の健康づくり推進協議会と連携し、受診率の向上を目指していく。

市の禁煙政策について

南郷区への配慮は

市民政友会

【問い】 市の禁煙政策について、南郷区の葉たばこ耕作の関係団体個人に直接説明を行ったか。

【答え】 また、南郷区への配慮は。

【答え】 市関連施設での禁煙政策は、健康増進法の趣旨を踏まえた

【問い】 受動喫煙防止のための処置である。このことから、葉たばこ耕作者団体などに対する直接の説明や配慮はしていないが、葉たばこは、南郷区の基幹作物の一つであるため、今後も、その生産を含め、農業振興に努めていく。

ＩＴを活用した児童生徒の

安全確保を

公明党

【問い】 ＩＴを活用した児童生徒の安全確保に対する取り組みは。

【答え】 これまで、市教育委員会では、警察などから得た情報を、学校に対し、電話やファクスでの周知や、八戸市教育情報ネットワークシステムを活用した電子メールによる配信を行っている。

【問い】 しかし、時間帯によっては、学校から子どもや家庭に対し、早急な伝達ができないことから、緊急性、重要性の高い情報は、学校に加え、保護者や地域の青少年育成団体などの携帯電話やコンピュータへ直接配信する安全情報配信システムを導入することとした。

【答え】 今後は、稼働に向け、保護者に対する周知や受信希望者の登録などを進めていく。

水辺の楽校の整備計画は

政風クラブ

【問い】 馬淵川に整備予定である水辺の楽校の今後の計画は。

【答え】 馬淵川八戸地区における水辺の楽校は、水辺空間の整備を目的とし、平成十三年度に国の水辺の楽校プロジェクトに登録され、平成十四年度からは、国、地域住民、教育関係者および市で、整備方針や管理の仕方、利用方法の検討を行ってきた。

これらを踏まえ、本年度中には、国の事業として、JR八戸線鉄橋付近の馬淵川左岸において、親水護岸や散策路などが整備され、来年度に供用開始される予定である。

市の経済活性化対策は

政風クラブ

【問い】 市としての経済活性化対策は。

【答え】 市全体の経済活性化のため、観光振興策では、産業観光の振興に取り組み、本年十月に全国産業観光フォーラムを本市で開催する予定である。

また、商業振興策では、商店街の調査・研究事業や歩行者天国な

ど商店街活性化事業を実施し、工業振興策では、企業誘致セミナー開催のほか、新たに自動車関連産業の誘致に取り組みとともに、世界初のマイクログリッド実証研究事業などを展開していく。

さらに、現在、新八戸市経済雇用対策会議を設置し、経済雇用対策の充実・発展について検討しており、今後も、農林水産業を含めた産業振興に取り組み、市全体が元気になるような諸施策を積極的に展開していきたい。

新たな広域観光ルートを

市民政友会

【問い】 八の太郎伝説を軸とした広域観光ルートを構築する考えは。

【答え】 八の太郎伝説は、南郷区や階上町、名川町、十和田湖、八郎潟、田沢湖など各地に伝説として語り継がれており、この伝説を基に観光ルートを構築し、誘客を図ることも一つの方策と考える。

一方、伝説自体の知名度アップも必要であり、新たな観光ルートの構築には時間を要するものと考えられるが、この伝説が東北を代表する観光地にまつわることから、その可能性を検討していく。

新たな条例

○八戸市の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例

この条例は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、市が設置する公の施設を管理させる指定管理者の指定の手続などを行うことを目的としています。

人事

○人権擁護委員の候補者に次の方を推薦することに同意しました。

元木 勇之助 氏

○農業委員会の委員に議会から次の方を推薦しました。

寺地 則行 氏
菊地 敏明 氏
工藤 雄剛 氏
吉田 淳一 氏

意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

- 地方六団体改革案の早期実現に関する意見書
- 地方議会制度の充実強化に関する意見書

議員表彰

長年にわたり市政の振興に貢献のあつた次の議員が、表彰を受けました。

○全国市議会議長会

市議会議員三十年以上在職

苅田 重一郎 氏

西野 陽一 氏

佐々木 秀男 氏

市議会議員十五年以上在職

秋山 恭寛 氏

市議会議員十年以上在職

越後 賢司 氏

松橋 敏知 氏

菊地 敏明 氏

寺地 則行 氏

○感謝状

全国市議会議長会

理事・地方財政委員会委員

東野 禮二 氏

理事

荒川 重雄 氏

請願・陳情の審査結果

継続して審査するもの

▽公務員給与の地域間格差導入に関する陳情

▽義務教育費国庫負担制度の維持に関する陳情

今定例会では、三十九人の傍聴者がありました。

なお、今定例会の会議録は、九月に発行の予定です。



組合議会議員（平成17年6月7日選任）

（敬称略）

八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員（16人）

三浦 隆宏	西村 吉晴	松田 勝	壬生 八十博
五戸 定博	冷水 敏	山名 文世	村上 澤時
森和 芳菊	大地 恒	元沢 正治	村前 小笠原
吉田 淳一	大館 夫	上田 善四郎	

八戸圏域水道企業団議会議員（4人）

越後 賢司	工藤 雄剛	田名部 和義	吉田 博司
-------	-------	--------	-------

八戸市階上町田代小学校中学校組合議会議員（4人）

狩守 弥千代	門前 廣美	八嶋 隆	金谷 榮男
--------	-------	------	-------